

第27回和漢医薬学総合研究所特別セミナー

第27回 和漢医薬学総合研究所特別セミナー

食品と薬のはざま

—変貌する食と健康への影響—

日時 | 平成18年10月21日(土) 9:00~17:00

会場 | 富山県民会館 304号室
〒930-0096 富山県富山市新堀曲輪4-18 TEL076-433-3111

参加無料

主催 / 国立大学法人富山大学 和漢医薬学総合研究所
事務局 / 国立大学法人富山大学 総務管理課教育研究支援室
〒930-0194 富山県富山市杉谷2630 TEL076-434-7009
<http://www.toyama-npu.ac.jp/nw/tokuseni/tokusgmi2008.html>
世話人 / 浜崎智仁

1. 総死亡から見たコレステロール.
浜崎 智仁 (富山大・和漢医薬研)
2. 健康によい油と悪い油.
奥山 治美 (金城大学・薬)
3. 食品成分の安全性.
広瀬 雅雄 (国立医薬品食品衛生研)
4. 食品の健康表示と科学的根拠：特定保健用食品を中心として.
清水 俊雄 (名古屋文理大・健康生活)
5. 食べ物・栄養と疾病予防：疫学研究の役割.
津金 昌一郎 (国立がんセンター)
6. 健康食品の効果と医薬品との相互作用.
隠岐 知美 (静岡県立大・薬)
7. 認知機能における魚油の役割.
守口 徹 (湧永製薬(株))

和漢薬研究所特別セミナーは1981年に第1回が開催され、一昨年、服部征雄・門脇真が世話人となり第26回が開催されている。今回は研究所名の変更にともない、第27回和漢医薬学総合研究所特別セミナーとなり（世話人：浜崎智仁）、15年度文部科学省「21世紀COEプログラム」に採択された本学の研究教育拠点形成事業「東洋の知に立脚した個の医療の創世」（拠点リーダー嶋田豊）との共催となった。テーマは「食品と薬のはざま —変貌する食と健康への影響—」で、以下のように7名の演者からの発表があった。

コレステロールは総死亡から見るとむしろ高い方が安全で、コレステロール神話に惑わされないこと（浜崎智仁）；普段我々の食べている油にはネズミの寿命を縮める成分があり、ジヒドロ型ビタミンK1、内分泌攪乱作用をもつ物質などがあり注意すること（奥山治美）；多くの抗酸化物質が酸性条件下で亜硝酸と反応し、NOを産生することで胃食道逆流症では危険であることなど、天然成分であっても危険性があること（広瀬雅雄）；食品の健康に対する表示について、日本と世界の現状、最近始まった条件付き特定保健用食品、またそれらの科学的根拠について（清水俊雄）；日本で最大級の疫学調査から得られたデータの解釈とそれらを疾病予防につなげる際の重要性について（津金昌一郎）；健康食品の有効性や安全性につき、グレープフルーツの薬物との相互作用、ノコギリヤシ、イチョウ葉抽出液の臨床研究の紹介（隠岐知美）；ネズミを用いた認知機能における実験で脳内DHAを減らすことで脳機能は低下するが、DHAを投与することによる可逆性、あるいは周産期のDHA投与の重要性について（守口徹）などの発表があり、質疑応答が行われた。（文中敬称略）